令和3年度

事　業　報　告

社会福祉法人　若竹の園

令和3年度　入所児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0　歳児	15	15	15	16	17	20	21	21	21	21	21	25	228
1．2歳児	78	78	78	78	78	77	77	77	77	76	76	76	926
3歳児	43	43	43	43	42	42	41	41	40	40	40	40	498
4歳以上児	82	82	82	82	82	81	81	81	81	81	80	80	975
計	218	218	218	219	219	220	220	220	219	218	217	221	2,627

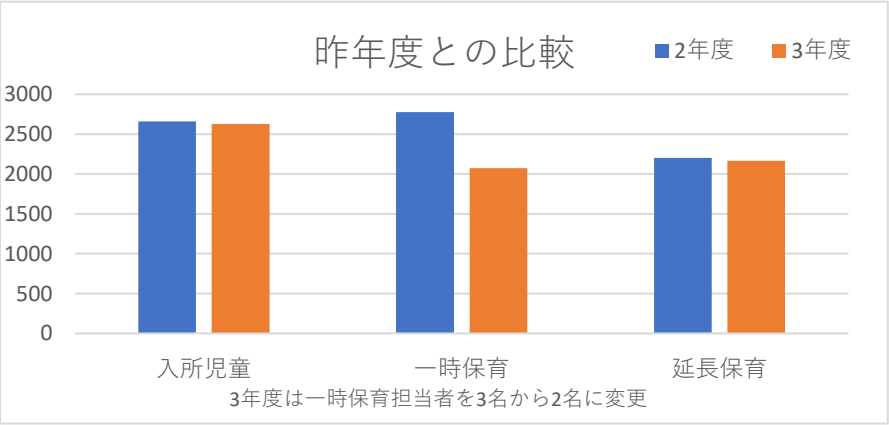
＊広域利用児含む

令和3年度　一時保育利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
1日利用	136	109	113	107	97	91	120	130	123	99	81	141	1,347
半日利用	75	72	61	65	70	47	54	59	53	56	38	78	728
合　計	211	181	174	172	167	138	174	189	176	155	119	219	2,075

令和3年度　延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
人　数	188	145	192	191	131	189	211	233	232	152	120	181	2,165



職員研修

2年度に引き続いてコロナ禍において、できることと取り入れていくことを考えた一年だった。職員研修についても、例年の研究班での実践を園全体での活動を通して継続しながら、２年目の取り組みである「あそびプロジェクト2021」の活動の中で年間行事の係も中心となり主任とともに取り組む。どの職員も参加して意見やアイデアが出せる形の実践研修を目指す。

特別支援児保育アドバイザー派遣事業

令和3年度も川崎医療福祉大学　臨床心理学科教授　武井祐子先生に依頼しました。

平成19年度より発達に特性がある子どもたちの理解と、援助等保育上の悩みや保護者対応など専門の先生に園を訪問していただき、保育士に指導していただける倉敷市の事業です。

訪問回数は4時間を1回として、診断書などで発達障がいと認定された子どもの人数によって回数が決められます。4月は8名の子どもで5回の訪問を依頼することになりました。

しかしながら、コロナ禍の影響で園内での見学がなかなかできず11月になり始めました。月を追うごとに認定児は増え、3月には18名の子どもが診断から療育や言語訓練に通っています。主には自閉スペクトラム症と注意欠陥多動症ですが、性格や家庭環境などもあり、日々の対応は保育士の大きな悩みです。クラス運営をしながら一人ひとりに寄り添う保育をと取り組んでいる様子を武井先生に観察していただき、その後子どもの様子や保育士の悩み、対応への助言を聞く時間を担任と設けます。今の自分の考え方、子どもへの理解、対応、他の園児との関わり方保護者との話の仕方など、不安に思うことを話すことで自らが振り返り自ら考えていける機会となっています。

また、特性をもっている子どもはとても多く、それぞれの個性を認めて自己肯定感の高い子どもへと保護者の方と共に育んでいけるよう今後も取り組むべき課題でもあります。

第1回　　11月4日　木曜日　　4歳女児　　K・T

担任	多動と言語の不明瞭あり。小学1年の兄と共に言語の療育には通う。 薬の服用で多動症に対応しているが、朝飲み忘れてくることも多く、園で朝 飲むようにする。まだ飲んでいる量も調整中。 落ち着かなかったり、友達との関わり方はある程度余裕を見てみるようにしている。 今後の活動参加の方法について相談。
武井先生	クラス全体がマイペースな子どもが多い。担任のおおらかな関わりで時間はかかって いるが、クラス意識は育っている。 本児の他どの部分は現在の対応のまま少しゆるみをもたせていけばよい。落ち着かな い日は、本児のいる環境をどう作ってあげるかをこれから考えていくことが大切。

第2回　　11月19日　金曜日　　4歳女児　　N・M

担任	話を聞いているように見えるが、理解できていないのではと思うことがよくある。 気の合う友達と一緒に一見一緒に遊んでいるようだが並行遊びで幼さが気になる。
武井先生	クラス全体に理解力の低い子が多くみられる。保育士が丁寧にかかわりながら、褒め てもらったり、認めてもらったりして遊びが継続できているように感じる 出来ないことを懸命に促すよりも、具体的な言葉を添えて伝えていく方法が良い。

第3回　　11月30日　火曜日　　3歳男児　　H・K

担任	友達とかかわりたいが遊びを理解できなかったり、大きな声や体に触って関心をひい たりする。言葉使いが荒く家庭環境も複雑なのでどうしていくべきか保護者対応でも まよう。分からないから困ってじっとしていられないのかと心配している。

武井先生	定型発達の子どもたちの環境をまず整えて、発達の保証をする必要がある。その上で配慮の必要な子どもへ自分で見通せるカードなども利用しながら本人が楽しいことの時に提示するなどして少しずつ身に着けていくのはどうか。

第4回　　12月23日　木曜日　　2歳児　　クラス全体

担任	クラス全体がすごく賑やかで甘えたい要求が強い。保育士が一緒だと遊べるが一人では遊びが見つけられない子が多い。個別にかかわると可愛らしく、保護者にはわかりにくい特性かなと思う。口では自分でと言いつつ生活面をしてしまう保護者が多い。
武井先生	一人一人の甘えの受容をしながら、様子を見ていく。自分ですることを身に着けていきたいが、大人の都合で振り回されていることで一貫性がない事が原因ではないか。少しずつ自分ですることの意欲を高められるよう声かけも考慮していく。

第5回　　1月19日　水曜日　　まん延防止等重点措置に入るころで見学ができず中止

食育

園内や畑での栽培（夏野菜の収穫と食体験、サクランボ、ゆすらうめ、杏や柿、姫

収穫体験　　リンゴ、人参・さつまいも・かぼちゃ）

行事と食を楽しむ（トウモロコシの皮むき、ピーマンの種取、飯盒炊飯とおにぎり作り

焼き芋、餅つき、七草がゆ、とんどやき、味噌汁、カボチャ炊き、かき餅）

収穫の喜び、手を使い、においや工程を楽しみながら食への興味関心を育む機会を設ける。栄養や体のこと、食べ物の力なども次年度は伝えていけたらと思う。

リスクマネジメント

新型コロナウィルス感染症対策について話し合う

園内の消毒・感染防止に向けての共通知識（マスクの着用と取り扱い、消毒液の扱い）

手洗い励行、検温の義務化、トイレ・手洗い場・ドアノブなどのこまめな消毒

給食準備での注意（4・5歳児）や子どもたちへの予防の伝え方

緊急時の対応策、連絡方法の確立と定期発信

.

遊具の点検、使い方・園内の危険場所と応急処置、保護者の連絡方法の統一

眼、口、などを打つけがが多かった　初期対応や受診までの流れ、2次災害が起こらないための職員連携をとる。危険場所の補修や環境構成

書類

ＰＣの使い方に慣れて記録なども活用している。通信や児童票の記事などＰＣの方がはかどる場合は、合わせて使用する。

書類の中身についての検討ができておらず、計画や、事前の話し合い、日週月案の書き方等については次年度への課題としていきたい。

クラスや園全体の環境構成を、全体に分かりやすく活用できる形を模索する必要がある。

職員の環境改善

働きやすさ・パワーハラスメントの講習などについて昨年度と同様に講習が出来ずに終わった。

手作り遊具・戸外遊び・昔遊び→遊びプロジェクトに組み込む。

わらべうた→貸出遊具係

貸し出し遊具係

長濱、大熊、大上

・園にはわらべうたや遊びの小道具の貸出遊具がたくさんある。知らない人も多く活用が少ない。

・係が貸し出し遊具の抜粋をし主任に相談、講習会を行う。この経験から貸し出しの活性化を図る。

・講習会後に各クラスに感想を書いてもらい、その後の保育にどう活かせたかを共通認識を持つ。

・感想の中に取り入れてほしい遊びへの希望もあり、回覧で尋ね次回以降の会で実践する。

・午睡時数日に分けることで、みんなが参加しやすい講習会とする。また資料を配布する。

7月7～9日	手袋人形	くいしんぼごりら、1丁目のどらねこ、 だれかがりんごを隠してる？
	おはなし組木	桃太郎、大きなかぶ、ぞうくんのさんぽ
	立体紙芝居	林の中から、わらぶき屋根の家
	藤田浩子おはなしの小道具	ドレスのおはなし

9月1～3日	手袋人形	5匹の子ザル
	藤田浩子おはなしの小道具	変身泥棒
	カレンダー式・繰り返し紙芝居	リスとどんぐり
	立体パズル式紙芝居	わたしはコブタ
	わらべうた	うえからしたから、いもくってぶ、おてぶし

10月 11.14.15日	藤田浩子おはなしの小道具	変身泥棒
	冒険迷路ゲーム	おばけの森
	わらべうた	ねこがごふくやに、お月さまえらいの ひと山こえて、くまさんのおでかけ、よいさっさ

11月 15～17日	藤田浩子おはなしの小道具	大きな箱
	おはなし	5人のこびと

11月 15～17日	わらべうた	米という字を、ひとつどんぐり、とけいやさん ぺったらぺったん、うさぎさんの餅つき 一つどんぐり

12月 13～15日	おはなし	にんじんとだいこんとごぼうのお話
	おはじきあそび	
	わらべうた	うちの金毘羅さん、ぽんぽんおなか、おてぶし ゆきふるしろい、クリスマスの夜（ろうそくぽっ）

1月17.18日	おりがみ	ふきごま
	藤田浩子おはなしの小道具	くるくる変わり絵（にわとり編、ちょうちょ編）
	わらべうた	ひやふやの、ちっちゃいまめ、まめがいっこ せっくんぼ、アズキッチョ、大さむ小さむ

2月15.22日	はまぐりの貝合わせ	蛤の内側に絵を描いて伏せ、番の貝を見つける
	ぶんぶんごま	
	わらべうた	ひなさまこさま、三月ひなさま、おはぎがおよめに いっぽかっぽ、カッテコカッテコ

3月8.9日	わらべうた	うぐいすの谷わたり、ここはてっくび とまったよ、はるですよ ハンカチたたみの歌

参加した職員の感想

保育にすぐに活かすことができた。
昼に覚えて夕方には子どもたちと遊べたのがよかった。
若竹で引き継がれているものが学べてよかった。
遊びのレパートリーが広がり、子どもたちと一緒に遊べた。
クラスですぐに実践できた。子どもの笑顔が見られてうれしかった。
季節の遊びが知れて保育へとつながった。
実際に保育士同士で遊んだので、ポイントや難しいところなどがよく分かった。
うろ覚えだったうたの確認ができた。

次年度に向けて

季節に応じたものや、伝承されているわらべうたや遊びを保育士同士で実践する取り組みを続けて、継承していきたい。

園内で同じ時期に遊ぶことで、兄弟児なども一緒に遊んだり口ずさんでいる。

年齢によって遊び方が違うものを経験できるのも講習会ならではの学びで、居残り児保育の際によく活用されている様子がうかがえた。

園内の貸出だけでなく、自分のレパートリーとして興味関心が高まっていたことをうけて、より実践できやすいように作り方なども楽しみながら取り入れる。

遊びプロジェクト2021

主任保育士2名と共に係を作り企画準備を進める

4月26～28日　こどもまつり

【ねらい】
・草花や虫など身近な春の自然に触れて遊ぶ
・戸外で風の心地よさを感じながら、からだを動かして遊ぶ

【活動内容】
・自然物を使ったままごと、笛やかんむり作り、虫に触れるコーナーで遊ぶ
・こいのぼりの凧やロケット、輪投げ、変身コーナーなどを楽しむ
・28日は端午まつりとして、全体での踊り（こいのたきのぼり、パワーのマーチ）や年齢ごとの活動を行う（玉入れ、しっぽとり、よもぎじょうぶ、スタンプラリー）

5月18～20日　しゃぼん玉であそぼう

【ねらい】
・しゃぼん玉の面白さ、不思議さを楽しみ、繰り返し遊んでみようとする
・大きさの違いや色の美しさに気付く
・考えたり、試したり、工夫したりして発見したことを喜んで、保育士や友だちに伝える

【活動内容】
・吹いて楽しむもの、つけて出すものなどコーナーを作り、年齢によって時間や場所などをある程度設定して、いろいろなしゃぼん玉遊びを楽しむ
・吹く、つけるなどの道具、しゃぼん玉液の配合なども工夫する
・4.5歳児はしゃぼん玉液やストローなどを作って、実際に使用して楽しんだ

6月22～24日　　ふしぎランド

【ねらい】　・興味を持った自然物や素材に自分から関わり、見たり、触れたり、試したりしながら面白さや不思議さに気付く

・好きなことを繰り返してあそび、楽しんだりさまざまなことを発見したりする

・友だちや保育士と気付いたことやおもしろかったことを伝え合い共有する

【活動内容】

・part 1　風船に乗る、ヘルメットをかぶってみる、色水遊び、生き物との触れ合い
ペットボトル花火、ぴかぴかの泥だんご、しゃぼん玉のコーナー
すり鉢ですった花の汁やレモンを入れて、色の変化に気付く

・part 2　手や泡だて器、泡立てネット、メレンゲスティックなどを使って、削った石けんやボディソープを泡立て、触ったり、身体につけたりして遊ぶ
泡を使ったままごとや洗濯ごっこ、シャンプー屋さんなどの遊びを楽しむ

① 7月28～30日　　水フェスティバル

② 8月24.25日

【ねらい】　・心身ともに開放して生き生き、のびのびとあそぶ

・水、砂、泥などの感触を楽しみ、面白さや不思議さに気付く

・友だちや保育士と一緒にあそび、楽しさを共有する

【活動内容】　・水、砂、泥を使った様々なコーナーを用意し、好きな遊びを楽しむ
水鉄砲、ポンポンシャカシャカ、水風船、といに流す、金魚すくい、魚釣り
ウォータースライダー、ウォーターベッド、噴水、砂場で工事

・活動の合間に水分補給とお楽しみを兼ねて、かき氷を食べる

8月27日　　1 DAY CAMP　＜5歳児＞

【ねらい】　・あそびの中で水、色、光の楽しさや美しさ、不思議さなどに気付き友だちや保育士と伝え合う

・友だちや保育士と楽しい夏のひと時を過ごす

【活動内容】　　テーマ「水、色、光」

9:30　　戸外　　大きなしゃぼん玉、自然物を使った泡・色水遊び

ビニールのトンネル、テントに入る

室内　　万華鏡作り、おはながみを使った制作、かき氷作り

11:40　・給食

・テントに見立てた布を吊った室内でお昼寝

15:30　・飯盒炊飯の様子を見ながら、まわりで踊ったりしながら待つ

・ゲームをしたり、お菓子のつかみ取りを楽しむ

16:30　・飯盒で炊いたご飯に好きな具を入れ、おにぎりを作って食べる

18:10　・保育士が出す夜店で遊ぶ（ゲーム、食べ物、おめん）

19:10　・段ボールタワーを囲んでダンスなどの集いを行い、自分が作ったランタンを持って降園する

9月7.8日　　**手足でアート**

【ねらい】　・のびのびとダイナミックに表現する楽しさを味わう

・絵の具の感触を楽しむ

・色が混ざり変化したり、形や模様ができるおもしろさや美しさなどに気付く

【活動内容】　・壁や地面などいろいろな場所に描く

・手や足、筆やブラシ、タンポや棒、ボールやスタンプなど様々なものを使用して描く

10月18日　　**お月見会**　＜5歳児＞

【ねらい】　・秋の夜空に興味や関心を持ち、月、星などの美しさや不思議さに気付く

・友だちや保育士と一緒に秋の夜のひとときを楽しく過ごす

【活動内容】　・倉敷天文台観望室の望遠鏡で土星、外の双眼鏡で月を見せていただく

・待ち時間は影絵クイズを楽しみ、終了後は月見団子をもらって帰宅する

10月5～7日　　**わくわくスポーツ2021**

【ねらい】　・それぞれの年齢らしさを発揮し、のびのびと体を動かすことを楽しみ、とびっきりの笑顔で参加する

・勝ってうれしい気持ち、負けて悔しい気持ちなど、いろいろな気持ちを経験する中で、友だちと喜び合ったり励まし合ったり、作戦を考えたりしながら楽しい、もう一回やってみようという思いを持つ

・自分なりに目標を持ち、挑戦しようという気持ちを養う、また達成感を味わう

10月19日　　**遠足ごっこ　お弁当の日**

【ねらい】　・秋の自然に触れたり、友だちと一緒に体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ

・友だちや保育士と一緒に戸外でお弁当やお菓子を食べたりし、遠足気分を味わう

【活動内容】・各クラス、学年で活動を計画する

・秋の自然物さがし　4.5歳児はスタンプラリーをする

・3歳児以上のクラスは、シートでお弁当と持ってきたお菓子を食べる

2歳児以下のクラスは室内でお弁当を食べる

11月5日　　**芋掘り遠足**　　＜4.5歳児＞

【ねらい】　・土、さつまいもなど自然物に触れ、手触り、色、形、大きさなど、様々なことを発見したり感じたりする

・発見したり感じたりしたことを友だちや保育士と伝え合う

・収穫を喜び、感謝の気持ちを持つ

【活動内容】・クラス毎に小型バスに乗り、園で借りている畑まで行く

・一人一株ずつさつま芋を掘り、ひとつずつ持ち帰る

11月10～12日　　**うきうきオータムランド**

【ねらい】　・木の実、落ち葉、風など秋の自然に触れて遊ぶ

・自然物に触れたり転がしたりしながらその特性に親しみ、試したり考えたりしながら遊ぶことを楽しむ

【活動内容】・どんぐり転がし、どんぐり投げ、おなもみの的あて、自然物を使ったままごと、落ち葉プール、松葉相撲、まつぼっくり釣り、どんぐりころちゃん、みのむし作り、ミニアスレチック

・風を感じて遊ぶ…ストロートンボ、フリスビー、パラシュート

1月7日　　**七草がゆ・お正月あそび**

【ねらい】　・日本の伝統行事や由来、遊び、昔話などに興味や関心を持ち、触れたり遊んだりして親しむ

・七草がゆを味わったり、お正月あそびを楽しんだり、お正月の雰囲気を感じる

【活動内容】・お正月あそび…たこあげ、けん玉、羽根つき、こま回し、ししまい
ジャンボすごろく（5歳児が制作）、トントン相撲、手裏剣投げ、絵馬作り（3歳以上児）

・七福神めぐり…園庭に七福神と干支の寅の祠をつくり、それぞれに因んだ飾りを笹につけて回り、最後におみくじを引く（４.5歳児）

・七草がゆ…七草を自由に見たり触ったりできるように置く
戸外で保育士が作るところを見た後、3歳以上児のクラスに配り食べる

2月28日.3月1日　　**お店屋さんごっこ**

【ねらい】　＜4.5歳児＞

・友だちとアイデアを出し合いながら、自分たちで活動を進めていく喜びや充実感を味わう

・異年齢児との交流を通して親しみの気持ちを持ち、教えてあげたり優しくしてあげたりすることに喜びを感じる

＜年少児＞

・年長児がしていることに興味や関心を持ち、喜んで見たり関わったりする

・異年齢児との交流を通して親しみや憧れの気持ちを持つ

【活動内容】 ・4.5歳児がクラスごとに考えたお店屋さんで、3歳以下のお客さんを案内したり、お互いに行き来して楽しんだりする

ばら1くみ…駄菓子屋、水族館、ヘアーサロン、ゲーム屋、おばけトンネル
お花屋

ばら2くみ…お寿司屋、おにぎり屋、クレープ、ジュース屋、動物園

ゆりぐみ…レストラン、変身屋

3月11日　　**春さがし**

【ねらい】 ・暖かい風、光、草木の芽吹きを発見し、春の訪れを感じる

・友だちや異年齢児との交流を楽しみ、生き生きと活動する

【活動内容】 ・4.5歳児は慈善活動として、双眼鏡、花の妖精変身グッズ、紙飛行機を制作
当日はスタンプラリーも楽しむ

・双眼鏡を使った春さがし、紙飛行機とばし、ちゅうりっぷのタケコプターとばし
ままごと、花の妖精に変身

プロジェクトは数日にわたって遊べるように計画し、継続のものもあれば新しい遊びを加えるなど変化も取り入れていく。実際の子どもの様子や担任からの意見なども取り入れ臨機応変に対応する。事前に準備物や配置も配っており、子どもたちが遊ぶ時間の配分の目安もわかるようにしていた。昨年度よかったもの、新たに取り組むもの、子どもの発想などでまた新たな取り組みができた。子どもたちが楽しみにしている様子を見られてとてもうれしく思う。また、事前活動などへの取り組みもみられており、普段の保育とのつながりがもてているところは2年目の成果ではないか。毎回各クラスからの感想や良かった点、改善点、子どものつぶやきなどを活動記録に記入してもらうことで、今後の課題もみえてきた。準備等に追われることは否めないが、係の保育士が意見を出し合ったり、自分たちで考えたり、園全体からの意見を聞くことで様々な気づきを今後に生かしたい。

主　な　行　事　の　ま　と　め

令和3年度

毎月の行事

・納入日　　・誕生写真　　・健康観察
・身体測定　・災害訓練　・誕生会
・体育遊びは状況に応じて中止や開催

コロナ禍により年間行事に入っていないもの

・親子遠足・バザー・春の参観日・眼科検診

・夕べの集い・プール・祖父母の集い・同窓会

・雪遊び

4月

1日　木　・進級式（進級児）入園式（新入児）

（進級児１７９名新入児３９名計２１８名の園児を迎える）

入園式は年齢ごとに2回

進級式は園庭→各クラス

6日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

20日　火　・内科健診（5歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

26日　月　・こどもまつり（～27日）

5月

10日　月　・検尿（4.5歳児）

オーニング設置

11日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

個人懇談中止

18日　火　・しゃぼん玉で遊ぼう（～20日）

16日緊急事態宣言発令

（～31日）

・内科健診（4歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

26日　水　・本部、施設監事監査（浅田・原監事）

若竹の園にて

27日　木　・内科健診（0.1.2歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

6月

1日　火　・内科健診（3歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

2日　水　・理事会　2年度決算報告と事業報告

若竹の園にて

22日　火　・ふしぎランド（～24日）

地域の方よりメダカを頂く

24日　木　・理事会　評議員会

倉敷国際ホテルにて

25日　金　・歯科検診（倉敷中央病院より歯科医師、歯科衛生士来園）

26日　土　・水島愛あいサロンで行われる就職ガイダンスへ参加

7月

6日　火　・6日～15日新見公立大学より4名保育実習に来る

国際ホテルよりco2センサー
お借りする

・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

7日　水　・七夕まつり　　倉敷天文台に笹を頂く

9日　金　・新型コロナウイルスワクチン接種　希望者が受ける　　倉敷中央病院にて

（①9日.30日　②12日.8月2日）

12日　月　・水遊び開始

・12日をはじめとして職員健康診断が始まる（10月下旬まで）

あいクリニックと予防医療プラザに分かれて健診を受ける

20日　火　・制服（リサイクル）販売①　　保護者会

21日　水　・カブトムシが来る　　旧職員よりカブトムシを頂く

28日　水　・水フェスティバル①（～30日）

・制服（リサイクル）販売②　　保護者会

8月

3日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園　　20日まん延防止等重点措置

14日　土　・大雨のため市内一斉休園となる　　27日緊急事態宣言発令（～9月12日）

24日　火　・水フェスティバル②（保育学生対象の体験会）

25日　水　・保育学生対象の座談会を行う　　ノートルダム清心女子大と中国学園大学学生参加

27日　金　・1 DAY CAMP（5歳児）

9月

7日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

・手足でアート（～8日）

9日　木　・内科健診（0.1歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

11日　土　・園庭整地工事　　タカトリ

後日少しずつ園庭遊具の塗装など手入れを行う　　職員

13日　月　・大原美術館未就学児童対象プログラム　（5歳児）　全1回　　大原美術館

14日　火　・内科健診（5歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園　　13日まん延防止等重点措置（～30日）

28日　火　・内科健診（4歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

わくわくスポーツ2021予行演習

30日　木　・内科健診（2.3歳児）　羽島こども診療所より「槙先生」来園

10月

5日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園　　3日間行い、6日のみクラス別に交代して観覧

・わくわくスポーツ2021（～7日）

6日のみ保護者観覧日とする

16日　土　・新見公立大学　保育実習(大学校内にて)

18日　月　・お月見会(天文台・5歳児)　倉敷天文台にて

・インフルエンザ予防接種　全職員が受ける　あいクリニック

(18日より29日まで)

19日　火　・お弁当の日　遠足ごっこ

29日　金　・お月見会(園内)

11月　オーニング撤去

4日　木　・特別支援児保育アドバイザー派遣事業　第1回　川崎医療福祉大学武井教授

5日　金　・芋掘り遠足(4.5歳児)　借りている堀南の畑

8日　月　・8～18日新見公立大学より4名保育実習に来る

10日　水　・うきうきオータムランド(～12日)

16日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

19日　金　・特別支援児保育アドバイザー派遣事業　第2回

・お弁当の日

22日　月　・焼き芋大会

26日　金　・生活発表会予行演習(倉敷市立美術館にて)

30日　火　・特別支援児保育アドバイザー派遣事業　第3回

12月

3日　金　・生活発表会　(3・4・クラス単位で完全入れ替え制とする　倉敷市立美術館にて

6日　月　・倉敷国際ホテルガーデンにて落ち葉遊び(5歳児)　宝探しゲームでのプレゼントやジュースを頂く

7日　火　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

8日　水　・災害訓練で消防署より消防車がやってくる　ハイパーレスキュー

14日　火　・耳鼻科検診(4.5歳児)　木村耳鼻科より「木村先生」来園

15日　水　・おもちつき

16日　木　・クラレ倉敷工場へジャンボツリー見学(5歳児)16:00～18:10　子どもたちがお菓子を頂く

21日　火　・冬至かぼちゃ炊き(災害用かまど使用)

22日　水　・クリスマス会

・職員研修　大原あかね理事長よりお話

23日　木　・特別支援児保育アドバイザー派遣事業　第4回

28日　火　・保育納め

1月

4日　火　・保育始め

・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

7日　金　・七草粥パーティー（災害用かまど使用）　倉敷天文台に笹を頂く

七福神めぐり、お正月遊び　参観日中止

13日　木　・とんどまつり　27日まん延防止等重点措置

ぜんざい作り（災害用かまど使用）　（～3月6日）

2月

1日　火　・理事会　大原美術館　東洋館にて

3日　木　・阿智神社節分祭参加（3歳以上児）

節分会（園内）　小学校一日入学保護者のみ

4日　金　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

・新型コロナウイルスワクチン接種　希望者が受ける　倉敷中央病院にて

（4日.14日.25日）　個人懇談中止　代わりとなる用紙を準備する

16日　水　・新型コロナウイルス感染症発生のため休園となる（～18日）

22日　火　・5歳児 食事会・テーブルマナー（昼食）　国際ホテルにて

28日　月　・テーマ遊び　お店屋さんごっこ（～3月1日）

災害訓練（引き渡し訓練）

を降園時に行う

3月

3日　木　・阿智神社雛祭り会参加（5歳児）　ひなまつり会（園内）　保護者とのお別れ会中止

・卒園写真撮影　一日入園中止→個別面接

11日　金　・倉敷中央病院より産業医「菊辻先生」来園

・テーマ遊び　見つかるかな　春探し

15日　火　・人力車体験（5歳児）地域ボランティア活動として　えびす屋

・お楽しみ会（ぶんぶんゴマと柿の木マンパネルシアター）

16日　水　・お別れ会（3～5歳児）

・おにぎりパーティー（4.5歳児）みそ汁作り（災害用かまど使用）

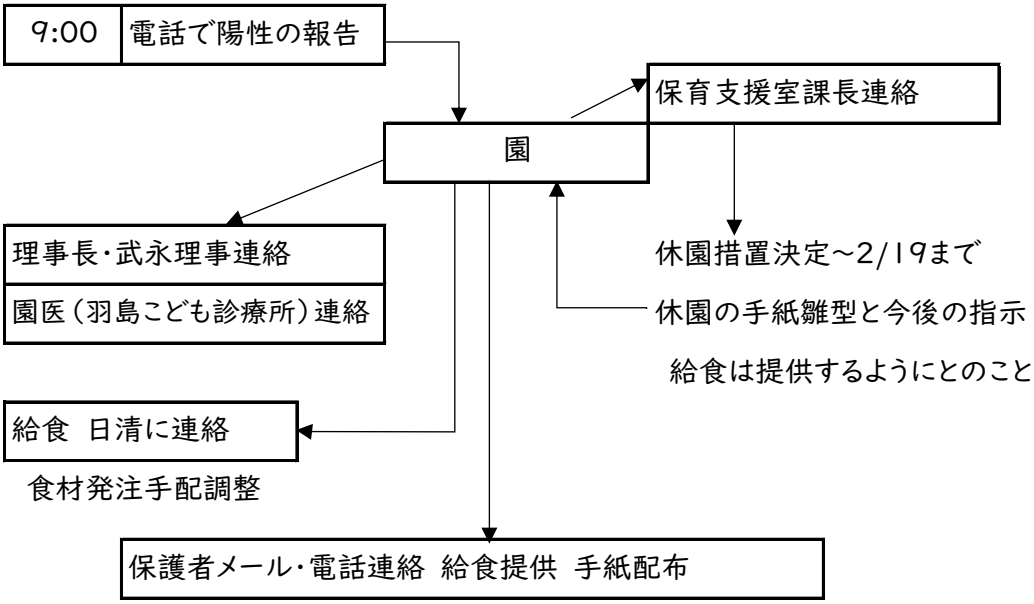
26日　土　・卒園式　来賓なし

30日　水　・理事会　倉敷公民館にて

コロナ園内発生と休園

令和3年度は、保育園・小学校・中学校・高校での休園や学級閉鎖が相次いだ。
9月ごろから始まり、ピークは1・2月で職員の家族（子どもが主）が該当した場合には出勤せず自宅待機とする。この期間は特別有給休暇として対応する。1回のみではなく12名の職員が該当したが、職員同士で協力し合いながら保育への支障なく過ごす。
園内でも保護者の罹患や子どもの罹患があったが、休み中の発生などで休園は免れていた。また職員やその子どもが高熱が出た場合は、抗原などの検査を実施してもらい陰性が判明したうえで出勤とした。手洗い・消毒・マスクの徹底を続ける。
2月に、午睡後発熱した園児が降園後に病院でPCR実施し、翌朝に陽性が判明。
園内での発症のため市に連絡し、初めて休園措置決定となる。

2月16日



2月17日　～　2月19日
職員自宅待機 健康観察
事務所のみ出勤し外部との連絡をとる。園長は夜間休日も電話転送設定し受け付ける

2月19日　夕方
感染拡大なく、再開を判断
職員グループLINE メール 電話にて連絡、体調チェック
保護者にも一斉メールにて発信

2月20日　再開

施　　設　　整　　備

令和3年度は施設整備を次の通り行った。

修　繕　　内　　訳

金　　額　＊10万以上のもの

1	給茶機修理	275,000
2	つくし・たんぽぽトイレ床暖房修理	330,000
3	和室床修理	330,000
4	給水管改修	990,000
5	空調設備	295,900
6	乳児室屋外階段基礎補修	223,300
7	漏水修理	132,748
8	ウサギ・鳥小屋撤去・塀改修	1,980,000
9	排水設備（雨水）改修	1,100,000
10	屋根雨樋改修	550,000
計		6,206,948

固定資産　　内　　訳

器具・備品

1	エアコン（さくら）	908,600
2	ジアイーノ（すみれ）	221,650
3	ジアイーノ（ひまわり）	221,650
4	空気清浄機（ほし）	130,000
5	ノートパソコン（クラス用）	135,000
6	ノートパソコン（クラス用）	135,000
7	ノートパソコン（クラス用）	135,000
8	ノートパソコン（クラス用）	135,000
計		2,021,900